

経済為替ニュース

SUMITOMO MITSUI TRUST BANK, LIMITED FX NEWS

第2140号

2012年12月03日（月曜日）

《 I do think we're going to get there 》

「財政の崖」を巡る協議が報道される範囲では進展を見ない中で、金融市場が「standstill」（停止状態）となった印象を受けた先週でした。ニューヨークの株も久しぶりに全般は小動きだった。しかし先物市場などに為替相場の今後の行方を占う兆しが出ているように思える。「財政の崖」を巡る米与野党の協議に関して、もっとも新しい当事者の発言としてガイトナー財務長官のそれがワシントン・ポストに載っている。以下記事を引用します。

「Treasury Secretary Timothy Geithner said Sunday that congressional Republicans are in a “difficult position” with regard to the ongoing negotiations over the looming “fiscal cliff,” and declared optimism that a deal could be reached, even as Republican leaders have said the talks have reached a standstill.

“I do think we're going to get there,” Geithner said in an interview on CBS’s “Face The Nation” set to air later Sunday morning. “Because, you know, the only thing that stands in the way of an agreement that’s good for the American economy is if a group of Republicans decide they’re going to block any increase in tax rates on the wealthiest Americans. I think it’s very unlikely they choose to do that, of course, because there’s so much at stake.”

Geithner said Republicans “really are in a difficult position. And they’re going to have to figure out their politics of what they do next, and they’re trying to figure that out right now.”（下線は筆者）

つまり共和党サイドが「富裕層への増税」をブロックしないと決断すれば話し合いは大きく進展するし、ガイトナーとしては「あまりにも多くがそれに掛かっている。共和党もそんなこと（ブロック）はしない」と話し合いの今後を楽観している、ということだ。ガイトナーは更に、「I do think we're going to get there」（そこに到達できる→合意できる）と考えているとも述べている。

他のニュース・ソースにも「共和党に妥協の機運」と出始めている。実際はそうなのかもしれない。ただしまだ12月に入ったばかりで、双方に具体的、顕現的に話し合いを進める機運がないだけなのかもしれない。交渉の当事者は、「立場は最後まで守った」という実績が欲しい。いずれにせよ、市場はこの問題を今週も注視することになるでしょう。

《 expecting lower yen 》

私が注目したこの週末のニュースは、日本経済新聞に載っていたものです。「米商品先物取引委員会（CFTC）が30日発表した27日時点のシカゴ・マーカンタイル取引所（CME）の建玉報告」に関するもので、それは「CMEの通貨先物市場で、投機筋（非商業部門）の円の対ドルの売り越し幅は2週続けて拡大し、売り越し幅は前週比2万8077枚多い7万9466枚と、金融危機前の2007年7月以来、約5年4カ月ぶりの水準に膨らんだ」というもの。

日経はこれに関して、「日本の衆院選挙後に日銀へ金融緩和を求める圧力が高まるとの観測に加え、財務省が発表した10月の貿易収支が4カ月連続の赤字に転落し日本の輸出企業の円買い圧力が減退するとの見方も台頭。期間中は円安・ドル高基調が強まり、円相場は一時7カ月半ぶりの安値をつけた。投機筋は売り持ち高を積み増し、買い持ち高を整理した。」と伝えている。

このところの円相場の動きを見ると、円相場の「上方硬直性」（円高への抵抗感）が強まっているのが伺えるが、これは「先物市場の動向を見ても明らか」だということでしょう。ドル・円でこそ円相場は82円台の小動きになっているが、豪ドルやユーロに対する円の弱さは際立っている。しばらくこの傾向は続くと思われる。

欧州関係のニュースでは、米格付け会社のムーディーズ・インベスターズ・サービスが30日に、欧州連合（EU）の救済基金「欧州安定メカニズム」（ESM）の格付けを、最上級の「Aaa」から「Aa1」に1段階引き下げ、今後の見通しも「弱含み」としたこと。さらなる引き下げの可能性を示唆したものだが、だからといってユーロは大きくは崩れていない。

今週の主な予定は以下の通りです。

- | | |
|----------|----------------|
| 12月3日（月） | 7-9月期法人企業統計 |
| | 11月軽自動車販売 |
| | 11月自動車販売 |
| | 白川日銀総裁講演 |
| | 米11月ISM製造業景気指数 |
| | ユーロ圏財務相会合 |
| 12月4日（火） | 米11月自動車販売台数 |
| | 豪金融政策委員会 |

1 2月5日 (水)	ユーロ圏財務相理事会 豪7-9月期GDP ユーロ圏10月小売売上高 米11月ADP雇用統計 米10月製造業受注 米11月ISM非製造業景気指数
1 2月6日 (木)	韓国7-9月期GDP ユーロ圏7-9月期GDP ECB理事会 米新規失業保険申請件数
1 2月7日 (金)	10月景気動向指数 米11月雇用統計 米12月ミシガン大学消費者信頼感指数 (速報)

《 have a nice week 》

週末はいかがでしたか。寒かったですね。「今年の冬は寒くなる」との予想もあるそうですが、それを予感させるような週末でした。喉風邪がはやっている。なかなか治らないのが特徴という今年の喉風邪です。私は早めに医者に行き、やっとなんかよくなりつつあります。皆さんもお気を付けて。

それにしても山梨県の中央道（高速）・笹子トンネルでの110メートル（一説には130メートル）の長さを超える天井鉄板の崩落事故は、少なくとも4人の死者が出る大惨事になりました。この週末では実に大きなニュースでした。さっき見たウォール・ストリート・ジャーナルの一面トップ（ネットの）にもなっていた。

どうやら「真ん中の隔壁（中壁）が落ちて、天井板とそれを支えるつり具も落ちた」（中日本高速道路）のが原因のようで、「過去に聞いたこともない事故」（国交省）とのことですが、国交省高速道路課によると「同じつり天井構造のトンネルは全国の高速道路に少なくとも約20本ある」ということなので、当然ながら緊急点検の必要がある。

筆者にとっても、中央高速道路は本当によく使う道路です。東京と生まれ故郷を結ぶ高速道路ですし、山梨県にはゴルフにも良く行き、それらは常に中央高速の事故が起きたトンネルを通過する。過去に何百回となく通っている。直近のチェックでは異常はなかったということですが、経年劣化だとしたら「戦後の経済発展の中で作ってきたものの、かなり時間がたった日本のインフラは大丈夫か」という議論になるでしょう。道路周りは大きなトラックの通過などで常に震動している。首都高などで車が止まると良く分かる。「これは劣化が早いのでは」と思う。

橋などが落ちるタイプの手抜き工事と経年劣化が重なった事故は海外（アメリカや中国

など)に多く、今までの日本にはなかった。しかしトンネルの天井が大規模に落ちるのはあってはならないことです。巻き込まれた車は少なくとも3台と言うことですが、私の経験・知識で言うとそれは「日曜日の朝8時前後」「上り車線」ということで、車の通行台数が少なめだったからだと思います。混雑時だったらもっと多くの車が巻き込まれた筈です。

トンネル天井のごく一部が落ちる事故は過去に山陽新幹線にあった記憶がありますが、天井版が110メートルに渡って落ちるなど聞いたこともない。首都高などを含めて戦後の日本が高度成長の中で作ってきたもの全般の点検が必要でしょう。

それでは皆様には良い一週間を。

《当「ニュース」は三井住友トラスト基礎研究所主席研究員の伊藤(E-mail ycaster@gol.com)の相場見解を記したものであり、三井住友信託銀行の見通しとは必ずしも一致しません。本ニュースのデータは各種の情報源から入手したのですが、正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。また、作成時点で入手可能なデータに基づき経済・金融情報を提供するものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。》